

令和5年度第1回埼玉県在宅緩和ケア推進検討委員会(8/31開催)  
における主な意見

【議事1 がん診療連携拠点病院の指定要件の見直し及びその現状について】

●指定要件について

- ・指定要件という形で、県があげていることで、病院側に対して県が意識を持たせることは良いことだと思う。
- ・小児を支えるというと、医療従事者が支える範囲は少ない。例えば就学、院内学校の対応、学校関係者などについては、医療以外の協力が不可欠である。

●県がん診療指定病院の指定要件について

- ・原則として、国が必須にしている項目は県で必須にしても困らない印象を感じる。

【議事2 若手医師世代への在宅医療・在宅緩和ケアに係る啓発・理解促進について】

●資料2の内容について

- ・在宅医療は24時間対応が大変だという話はよく聞く。訪問看護師のバックアップをアピールして、在宅医療を担う医師を増やせたら良いと思う。
- ・若い世代から在宅医療について学ぶ機会があることは良い方向だと思う。
- ・学生向けということを考えて、患者さんの声があると在宅医療へのモチベーションが上がりやすいのではないかと感じる。

●視聴対象について

- ・看護学生などにも見てもらってよいと思う。
- ・せっかくなら埼玉県だけではなく、東京など他県の方にも見てもらえると良いと思う。

【その他】

- ・在宅医療は、休日夜間の対応が課題。休日夜間の対応だけをフォローしてくれる専用のセンターなどがあると、これから一人で在宅医療を始めようとする人の手助けになると思う。